

西之表市 議会だより 101

5…一般質問（中心拠点施設等）



▲種子島中学校体育大会の様子

- 2…まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定など議案 19 件を可決・同意
- 3…委員会審査報告
- 8…所管事務調査報告（総務文教委員会・産業厚生委員会）
- 10…9 月議会議決結果一覧
- 12…次回定例会予定等

まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定など 議案19件を可決・同意

平成27年第3回定例会において、まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定（3頁に関連記事）や予算関係9件を含む議案21件が提案され、1件が撤回、1件が否決され、その他は原案どおり可決・同意された。

請願・陳情は継続3件、新規1件の合計4件で、そのうち採択1件、継続審査2件、不採択1件となった。

意見書の提出

- ①安保法制の慎重審議を求める意見書
 - ②平和安全法制関連法案の廃案を求める意見書
 - ③FCLPの馬毛島調査に反対する意見書
 - ④年金積立金の専ら被保険者のための安全かつ確実な運用に関する意見書
- 以上が提案され、②は否決、その他は原案通り可決された。

市教育長を任命

現教育長の立石望氏が平成27年10月24日付で任期満了となるため、改正法に基づき、同氏を任命しようとするもので、原案に同意した。

・教育委員の任命 ・監査委員の選任 ・人権擁護委員候補者の推薦

現在委員の任期満了に伴い、平川浩氏（教育委員）、宮浦友一氏（監査委員）を再任、西村建二氏（人権擁護委員候補者）を推薦しようとするもので、原案に同意した。

平成27年度一般会計 補正予算（第3号）

歳入歳出の総額に6億813万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ113億5,705万9千円とするもの。

歳出予算の主なものの一部は以下の通り。（数字は補正額）

連合審査会を開催

議案第70号西之表市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について及び議案第71号平成27年度西之表市一般会計補正予算（第3号）は、総務文教委員会、産業厚生委員会の両委員会に関連のある議案であったため、両委員会合同での「連合審査会」を開催し、慎重審議を行った。

主に中心拠点施設について質疑がなされ、「市民への周知が足りない」、「性急すぎる」、「費用がかかりすぎる」等の意見が出された。

これに対して市長から、中心拠点施設整備事業の理解をさらに深める必要があるとの判断から、議案を撤回する旨の説明がなされた。

総務費 4億5,097万4千円

◎あっぱ〜らんど施設整備事業 580万円…有効利用を図るため、年次的な整備を進める。特に既存施設の延命化対策を行う他、施設の拡張（ゲートボール場芝2面整備）を行うことで、より各種イベントやスポーツ大会が開催可能な条件をつくるための費用。

◎地域活性化住宅事業 180万7千円…急激に進行する地域の高齢化と人口減少を抑制し、地域への人の流れを促すことで地域の活性化を図るもの。5棟を地域活性化住宅として整備。

民生費 2,560万1千円

◎多世代交流・多機能型支援の拠点づくり事業 898万8千円…児童の見守りや子育て支援員の養成、高齢者の活動拠点の確立のため、旧古田保育園を増築、また、グラウンド等周辺の整備を行うもの。

農林水産業費 1,237万1千円

◎茶業経営回復緊急対策事業 1,602万3千円…緊急対策として、一番茶の価格低迷による茶生産農家の経営回復のため、荒茶加工料の一部助成を行うことで、茶生産農家の経営安定を図るもの。

委員会審査報告

議案は、常任委員会に付託され、慎重に審査されます。その審査の経緯と結果は、本会議で各常任委員長が報告し、質疑・討論を経て採決されます。その主な内容をご報告します。(名称等は一部簡略化しています。)

総務文教委員会

【構成委員】

委員長 小倉 初男

副委員長 渡辺 道大

委員 濱上 幸十

〃 小倉 伸一

〃 川村 孝則

〃 長野 広美

〃 丸田 健次

〃 永田 章

条例

▼市手数料条例の一部改正

マイナンバー制度の導入に伴い、住民基本台帳カード交付及び再交付の項を削り、通知カード及び番号カード再交付の項を加え、再交付に係る手数料を徴収するための改正。

手数料の住民負担があるとの意見も出た。

▼地域活性化住宅の設置、管理条例

地域の高齢化と人口減少を抑え、地域活性化を図る目的に、都市計画区域外の地域に若者や担い手となり得る世帯の定着を図るための住宅支援を行う条例の制定。

まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

平成27年度から平成31年度まで5年間、まち・ひと・しごと創生に関する施策の基本的な計画を策定するもの。

★今後の施策の方向

産業・人口・観光分野の分析結果を踏まえ、以下の4つの基本目標において、市として実現すべき成果を重視した数値目標を設定する。

- ① 安定した雇用を創出する。
- ② 本市への新しいひとの流れをつくる。
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
- ④ 中心部と周辺の小さな拠点の連携による魅力ある地域を創出する。



▲地域活性化住宅

予算

平成27年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出の総額を1億3,705万9千円とするもの。

■地方債補正

臨時財政対策債など変更4件。

■歳入

○地方交付税

地方交付税の確定に伴う増額。

○国庫補助金

個人番号カード交付事業に伴う増額など。

○県補助金

浅川海岸観光交流スポット整備事業及び古田校区の多世代交流支援の拠点づくり事業に伴う増額など。



▲浅川海岸

○寄附金

ふるさと応援寄附金を今年度800万円と見込んだ増額など。

○市債

汚泥再生処理センター整備事業に係る増額など。

■歳出

○総務管理費

企画費は、分散型エネルギーギーマスタープラン策定事業の実施経費。

○戸籍住民基本台帳費

マイナンバー制度における個人番号カードの交付事業に要する費用を計上。

○消防費

災害対策費の増額は、防災無線の個別受信機50台を購入するもの。

○教育費

教育振興費は、要保護、準要保護の児童数が当初の見込みより増えたことによる増額。

○社会教育費

市民会館管理費は、市民会館の地盤改良工事、ホール舞台幕及びシアタープロジェクトを購入するもの。

■指摘・要望

分散型エネルギーギーマスタープラン策定にあたっては、さとうきびのパカスを活用するなど、地元資源に特化したエネルギー開発の実現に向け取り組むこと。

平成27年度特別会計補正予算(第1号)

▼交通災害共済事業

歳入歳出予算の総額を2億8,544千円とするもの。

歳出の消耗品費の追加、予備費の計上、歳入の繰越金を増額するもの。

請願

▼「川内原発再稼働に反対する意見書」の鹿児島県知事への提出を求める請願書

原発の安全対策の十分さ、多くの専門家による危険性の指摘から川内原発再稼働に反対する意見書の県知事への提出を求めるもの。審査の過程において「事故が起きた際の避難計画や本市への影響など調査が出来ていない。そのような中で再稼働すべきではない」という意見や、「川内原発再稼働にあたっては、原子力規制委員会の厳しい審査のもと判断した」との意見が出された。8月に再稼働した中で、結審すべきとの意見から、審査の結果賛成少数で不採択と決した。

産業厚生委員会

【構成委員】

委員長 鮫島 市憲
副委員長 中原 勇
委員 木原 幸四
下川 和博
瀬下 満義
田添 辰郎
榎元 一巳
橋口 美幸

条例

▼汚泥再生処理センターの設置及び管理に関する条例の制定

汚泥再生処理センターの設置に伴い、新たに本条例を制定し、「し尿処理場の設置及び管理に関する条例」を廃止。センターの名称は「西京苑」、市の職員を配置すること、運転管理業務は部外に委託すること、袋詰め堆肥は一袋100円とすることなどを規定。



▲建設中の汚泥再生処理センター

予算

平成27年度一般会計
補正予算(第3号)

歳出

○総務費
屋根付競技場の雨樋の修理、ゲートボール場2面の整備費などを計上。

民生費

古田保育園跡を拠点として「多世代交流・多機能型支援の拠点づくり事業(名称は「ふるさと手と手をつなぐ結いの里」)、放課後児童健全育成事業、子育て応援券支給事業などを計上。

衛生費

未登録犬の調査・登録事務等に従事する臨時職員の雇用、西京苑の落成式典の予算などを計上。

農林水産業費

(株)西之表精脱の経営を円滑に行うための事業、茶業経営回復のための荒茶加工料の一部助成事業、108haの間伐推進事業などを計上。

商工費

能野海水浴場の減菌ポンプの更新、地域おこし協力隊の赴任旅費・出張費などを計上。

土木費

瀬泊4号線のガードパイプ取り替え工事費、旧教職員住宅の修繕費などを計上。

平成27年度特別会計
補正予算

簡易水道

▼国民健康保険

▼地方卸売市場

▼介護保険

▼後期高齢者医療保険

▼水道事業

請願

▼年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める請願書

年金積立金は厚生年金保険法等の規定により、専ら被保険者の利益のために安全かつ確実な運用を堅持すべきであり、リスク性資産割合を高め、年金積立金が毀損した場合、被保険者・受給者が被害を受けることになることから、意見書の採択を求めるもの。最終本会議において、賛成多数で「採択」となった。

▼種子島、屋久島を「火山活動周辺地域防災営農対策事業」の対象地域に組み入れることを求める請願書

口永良部噴火による降灰が屋久島だけでなく種子島にも及ぶことが心配され、噴火が長引き、降灰による被害が懸念されることから、種子島、屋久島を「火山活動周辺地域防災営農対策事業」の対象地域に組み入れること、両島に降灰観測地点を設置することを求めるもの。

請願の趣旨を重く受け止めるとともに、各振興会や農業団体等の意見も集約し、検討した結果、降灰観測機器は八月下旬に種子島・屋久島の1市3町に各1ヶ所設置されていること、現在、噴火は沈静化の状態であること、園芸農家や各農業団体等においても、一部に風評被害を懸念する意見もあり統一見解に至っていないことなど、今後の推移を見極める必要もあることから、賛成多数で「継続審査」となった。

▼一般廃棄物(古紙)の圧縮梱包処理費の負担を求める請願書

平成18年度に、西之表市から一般廃棄物処理業の許可を受け、ゴミの軽量化・資源サイクルに努めてきたが、平成25年4月より事業系一般廃棄物のリサイクルに該当する古紙類において、中種子町清掃センターへの搬入が禁止されたことにより、中種子町の事業系古紙搬入数量の極端な減少、自社による古紙回収経費の負担増、燃料費高騰など様々な影響が経営を圧迫している。

このため、西之表市から一般廃棄物処理業の許可を受けている委託収集運搬分(拠点収集分)を古紙搬入処理費用として1kgあたり5円の負担を行政に求めるもの。本委員会では、行政が処理費用の一部を負担するためには、経営状況の把握が不可欠であるが、現在、これらの資料が不足していることから、必要な資料を提供して頂き、その後、審査すべきであるとの意見が多く、全会一致で「継続審査」とすべきと決した。

いろいろなご意見をお聞かせください!

99号より右の編集委員会メンバーで「議会だより」を作成しています。市民の皆様、議会をより身近に感じていただけるよう、親しみやすい紙面づくりに心掛けていきたいと思っておりますので、いろいろなご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

左から川村委員、中原委員、渡辺委員、長野委員、木原委員長、田添委員



一般質問

平成27年第3回定例会では12名の議員が一般質問をしました。以下に要旨を掲載します。

※今回よりテーマごとに掲載しています。

地方創生・中心拠点施設

◎中心拠点施設について

小倉 伸一 議員



問 にぎわい交流拠点施設整備事業2億8,000万円で過疎債(地方創生分)で新設するが、ICTを活用した、外貨を獲得する複合施設を求めたい。

答 中心拠点施設に、にぎわいを取り戻したい。ICTを活用し、島外、海外へのインフォメーション的役割を持たせたい。グローバル化、国際化への対応を行い、交流の場、地域の資源を生かした外貨獲得機能を持たせたい。(市長)

◎まち・ひと・しごと創生総合戦略について
榎元 一巳 議員



問 まち・ひと・しごと創生総合戦略について国は、大休事業規模で2,000億円というふう述べている。しかし、概算要求の閣議決定が済まなければ、県の負担や、各市町村の自主財源の確保もなかなか出来ないのが実情だと思ふ。そのような中で、各事業が実施されるのだが、今後の財政問題も含め、どの様に考えているのか。

答 各課からそれぞれ事業をあげてもいい、その中から、効果的なもの、効果的なものを選定して行いたい。財源に関しても、地方財政

計画の話と、実際の交付額とをしっかりと見定めて取り組んでいきたい。(行政経営課長)

問 地方創生総合戦略本部会議において、各課長間での内容の共有、横断的な構想、施策を期待するが、各課での議論も、まだまだ不足しているのではないか。

答 行政経営課と各課と話をし、各課職員間でもしていると思う。より深める努力、工夫をしていきたい。(行政経営課長)

◎にぎわいの拠点施設について
田添 辰郎 議員



問 西之表港の観光交流施設を2億8,000万円をかけて作るというが、委員会のアンケートの結果では、半分以上が反対である。西町・東町の商店街を消滅させると危惧し、個人商店を廃業に追い込むようなこともあると考えるが、その場合市長はどう責任を取るのか。

答 責任を取る取らないというような問題ではない。皆さんと協力しながらそういうことにならないようにする。(市長)

問 それを無責任というのではないか。

行財政

◎新地方公会計制度について
丸田 健次 議員



問 新制度の導入により会計処理はどう変わるのか。

答 新制度が導入されなくても変わりはない。これまでの会計制度の補完的なものとして用いる。(行政経営課長)

◎政党機関紙「赤旗」の庁舎内勧誘について
丸田 健次 議員

問 政党機関紙「赤旗」の庁舎内勧誘については、市庁舎管理規則に該当し、違反して

答 規則に該当するかどうか。市長の許可を受けなければならぬと規定されているが、現在のところ申請はない。今後は、すべての庁舎内での営業行為については、規則に沿って、許可申請を行っていく予定である。(財産監理課長)

◎財政について
瀬下 満義 議員



問 市長は自立した自治体運営のためにも財源確保が必要と述べているが、手段としてどんなことを考えているのか。また、市長、副市長、教育長の年俸を3人分合わせて560万円上げたが、財源確保との整合性はどうか。

答 産業振興策による税収増、事務事業の適正な執行、税収の確保、補助金や起債の活用による財源確保を考えている。三役の年俸値上げについては、長野市長になってから市長の給与30%削減等に取り組み、今年それを元に戻したただけなので、整合性はとれている。(行政経営課長)

問 市長は、「今最も必要なことは行動する人」と述べているが、三役の大大幅給与引き上げは「行動する人」のお手本か。

答 削減した給与を元に戻したただけだと考えている。(総務課長)

◎職員等の島内外研修の充実について
鮫島 市恵 議員



問 業務の多岐・多様化が進み、職員等への負担も大きい。計画的な研修機会が不可欠だが、今後の研修についての考え方を問う。

答 人材育成基本方針に基づいて実施。自発的な資質向上に取り組める環境づくりを進めたい。(総務課長)

◎市民の納税状況について

鮫島 市憲 議員

問 市民の状況は依然厳しい。前年度現時点対比での収納率等の状況を示せ。

答 市税の収納状況は、90・97%で、0・52ポイントの増加。国保税は、75・46%で1・95ポイントの増加。収納率の低下を招かないよう努力する。(税務課長)

◎ふるさと納税について

濱上 幸十 議員



問 ふるさと納税をいただいた方へのお礼の率を変えることについて問う。

答 お礼の率を4割、5割にする予定である。(地域支援課長)

◎職員(非・パ・正)の労働環境について

橋口 美幸 議員



問

昨今、民間でも、公的な職場でも、正規・非正規を問わず、労働者は厳しい状況におかれている。その要因は、かつての小泉政権時代、新自由主義の名の下に行政改革を進め、「官から民へ、正規から非正規へ」と急速に進められたことにある。

非正規職員は低賃金と劣悪な労働環境におかれ、正規職員には、職員の大規模削減による負担が出てきている。部署によっては、連日遅くなることも多いのではない。非正規職員を含む職員の労働環境の改善を進めるべきではないか。

答

公務労働者の役割は全体の奉仕者であって、公共の福祉の擁護者としての使命がある。非正規職員は、職員の補助的な役割と

して配置している。近年は、職員の確保にも苦慮している。業務が、深夜に及んでいることも確認している。健康管理の面からも、適正な人員を確保するための検討、非正規職員の処遇改善、職員化についても検討を進める。(総務課長)

産業・まちづくり

◎補修・改修の必要な道路について

小倉 初男 議員



問

市道・農道のデコボコ道路の解消に向け、大幅な予算は組めないか。

答

市全体の事業との調整を図りながらできるだけ予算の増額要望をする。(建設課長)



◎農林水産業について

下川 和博 議員



問 さとうきびの生育状況及び、今後の対策について問う。

答

現在の生育状況は、昨年に比べて茎の長さで20%足りない状況。予定収量も10a当り4・2t程と見込まれている。今年度は株出管理に1/2の補助を出しているが、さらに自家苗を秋春に新植した場合2/3の額で12,400円を補助することとした。(農林水産課長)

◎高齢者が利用しやすいまちづくりについて

渡辺 道大 議員



問

中心市街地や商店街は、高齢者にとって、移動がしやすく、利用しやすいまちとなっているか。

答 まちのつくりや建物などが古いことから、高齢者にとって不便なところは出てきている。今後、市街地の道路についてもバリアフリー化や全面改修なども可能な限り進める。(市長)

問

中心市街地には、公衆トイレが少なく、公園のトイレも使いづらい。公衆トイレの新設も含め、商店街の店舗に一般への開放を求める話し合いが出来るか。

答

中心市街地に公衆トイレがあれば、利用しやすいまちとなり得る。しかし、設置場所の問題があるため、努力したい。商店街の方へ協力を求めることも良いと思う。今後、商店主との話し合いを進め、お互い力を合わせたい。(市長)

教育・教育施設

◎老朽化した学校施設改修について

小倉 伸一 議員

問

老朽化した学校施設について、過去の一般質問で下西小学校の異常な外壁の汚れや床板の状況を示し、

市内全学校の調査と改修を求めてきた。積極的な財源確保と前倒し実施を求めたい。

答

老朽化した学校施設については、長期振興計画の中で年次の改修を計画している。下西小学校の改修は、平成30年となっているが、財源確保を含め、前倒しできないか前向きに検討したい。(教育長)

◎市営プールの開放について

小倉 初男 議員

問 27年度市営プールの利用者数と管理人が一目でわかるユニフォームの着用ができないか。

答

27年度は4,999名の利用があった。目立つ帽子などの貸与を検討する。(社会教育課長)

問

紫外線対策として遮光ネット設置は出来ないか。

答

小・中・プール側については検討したい。(社会教育課長)

問

県大会に向けて開放期間の延長はできないか。また、幼児用簡易トイレの設置はできないか。

答 今後の検討課題とする。(社会教育課長)

◎割愛社会教育主事導入について

丸田 健次 議員

問 他市の状況と本市が導入していない根拠について問う。

答 県下19市中、15市が導入、未導入は本市を含め4市である。

生涯学習の充実や学習活動多様化への対応のため、配置や資格取得も検討すべき課題である。(教育長、社会教育課長)

◎若狭公園内の相撲道場天倫館について

丸田 健次 議員

問 若狭公園内の、相撲道場天倫館の状況について問う。

答 昭和46年に建設。相撲練習場、遺族会の事務所として利用されている。今後、公園内の体育施設全体で改修等の検討が必要。(社会教育課長)

◎教科書採択について

濱上 幸十 議員

問 南京大虐殺を記述しなかった教科書が検定に合格したことについて問う。

答 近現代の歴史的事象のうち、通説的

な見解が無い数字などの事項について記述する場合、通説的な見解がないことが明示されているとともに児童または生徒が誤解するおそれのある表現がないことが基準である。(学校教育課長)

問 全国学力テストについて、当市の成績はどうだったか。

答 小学6年生は全て県平均を上回った。全国では、上回るか同程度であった。中学3年生は全て県、全国平均以下だった。(学校教育課長)

衛生・福祉・医療

◎野犬対策について

小倉 初男 議員

問 国土地区での野犬による被害件数と多頭飼育の現場確認及び指導はどのようにしているか。

答 4月以降7件の被害を把握している。多頭飼育者には平成3年から450回の監視指導、88回の指導、3回の措置命令をしている。今後も保健所と連携し、対策を進める。(市民生活課長)

◎介護予防・日常生活支援総合事業について

鮫島 市憲 議員

問 本年4月から現在までの利用状況と課題を問う。

答 既存のサービス利用者が48人。多様なサービスへの理解と自立支援の啓発、人材・質の確保が課題である。(健康保険課長)

防災

◎緊急災害時の早期対応と予算拡充について

鮫島 市憲 議員

問 災害時における現地と行政との連絡体制について問う。

答 異常個所の連絡あわせ行っており、連絡体制に支障はない。(総務課長)

問 規模の大小を問わず、対応できる予算の拡充を図れ。

答 適宜拡大を検討し、迅速な対応を心掛けたい。(建設課)

馬毛島

◎滑走路方向について

中原 勇 議員



問 元町会議員は、「種多、新空港の滑走路方向が現実的であり、平成23年7月に防衛省が説明した方向はウソである」という主張をしている。これは、説明会で現実的な予想飛行経路と防衛省が示したものの違いを指摘した際に、「現時点での予想飛行経路であり、これからの気象調査で変更もあり得る」との答弁を受け、主張されているもの。

れる。馬毛島に建設予定中の南北方向の滑走路も、北西方向の補助滑走路も、そして防衛省が示した滑走路方向もその要件を満たしており、決してウソではない。このことについて、市長の見解を問う。

答 防衛省は今後の気象観測の結果により変更もあり得るとしており、そのように認識している。(市長)

◎馬毛島について

田添 辰郎 議員

問 馬毛島の自衛隊・FCLP施設に市長が反対であるのは結構だが、施設ができなかった場合、馬毛島に對して法律的にどのような関与ができるのか。

答 他人の土地でもあり、法律的にはできることは少ない。(行政経営課長)

問 農業・観光で市政発展を目指すというが財源はどうするのか。

答 これまで通りその時々で工夫しながらやっていく。(市長)

問 市民にこのようなことも説明しながら市民の判断に基づき推進すべきではないか。

答 反対は変わらない。(市長)

■その他の質問

中原 勇 議員

○シカ対策、馬毛島問題(対策協議会・低空飛行訓練・騒音問題)について

瀬下 満義 議員

○賑わい作りの拠点施設、馬毛島問題、市の人口問題について

下川 和博 議員

○拠点施設建設、ゴミ収集の状況について

濱上 幸十 議員

○馬毛島問題関連について

渡辺 道大 議員

○波打つ市道路線の改善、農業所得減に対する農家支援策について

橋口 美幸 議員

○平和問題、拠点施設の建設計画、地域医療、介護の認識について

榎元 一巳 議員

○中心拠点施設、事業推進への取り組みについて

田添 辰郎 議員

○子どもの学力向上、教育環境について

総務文教委員会所管事務調査報告

委員長 小倉 初男

平成27年7月7日から7月9日にかけて、熊本県玉名市及び、佐賀県多久市、小城市において、所管事務調査を行った。

熊本県玉名市・移住・定住促進及び空き家対策



玉名市では、定住施策の取り組みとして、都市圏で行われる定住相談会に毎年参加をし、UIターン相談員の設置、サポートをしている。

また、おためし暮らし事業として、移住希望に、市が所有する住宅を貸し出し、一定期

間住んでもらい、定住を促進していた。家具や、家電製品を備え、月額1万5000円、1日あたり5000円の賃貸。

定住促進補助金として、住宅取得補助金、住宅リフォーム補助金、新幹線通勤定期券購入補助を、5年間実施し、170件の実績がある。空き家バンク事業については、売却・賃貸の空き家情報と定住希望者情報を登録・紹介するもので、登録物件11件、成約3件、利用希望登録者約40人の実績。課題として、登録件数増大と空き家に残された家財道具の撤去があげられる。

定住促進を展開していくうえで、受け入れ体制や地域の情報提供が必要。特に、おためし暮らし事業は、気軽に定住体験ができ、魅力的であり、種子島では効果が期待できるのではないかと感じた。

佐賀県多久市・まちづくり交流センターの取り組み



多久市まちづくり交流センターは、まちなかの居場所として、若者、子育て世代、シニア世代などが集い、イベントや交流によるまちづくり活動を通して、にぎわいをもたらし施設として、整備をしてきた。

事業費は約6億円、運営を指定管理にし、ハローワークや会議室、多目的広場があり、店舗も3か所、来場者目標は、一日300人、年で10万人を見込み、達成をしている。

年間運営費を2,000万円、施設から商店街への流れをしつかりつくり、回遊を最重要視している。駅を中心とした長期の事業計画と目標に歴史的な積み上げがあり、住民が参加しやすい工

夫をしている。過去6年間のアドバイザーの役割も重要である。事業実施にあたっては、現状を見極め、実情にあった中心市街地活性化の方向性を示し、市街地全体で考えていく必要を感じた。



佐賀県小城市・ふるさと納税



小城市では、平成20年

度からふるさと納税を始めたが、5年間は寄附金が伸び悩んでいた。平成26年度から、お礼の品を充実させ、ふるさと納税専門のポータルサイトを利用し、広くPR。また、クレジット支払を開始した。寄付額に対する還元率は5割とし、5割相当の品物をお礼として送る。

種子島では日本一早い早期米やお茶、安納芋、水産物でも、水イカ、イセエビ、ナガラメ、アサヒガニ等、特産物は豊富にあり、活かしていくべきである。

ふるさと納税は、出郷者だけを対象としたPRではなく、日本全国を対象に、西之表市のPR、特産物をPRすることにより、観光産業へも波及していく取り組みになるのではない。

今回の調査を通じて、ふるさと納税について、積極的に取り組むべきと強く感じた。

～防災無線で議会日程をお知らせ～

○議会の日程と合わせて、一般質問の内容を質問者ごとに一問ずつ放送しています。

放送時間は、本会議の前日午後6時40分と当日午前7時20分です。是非ご確認ください。



産業厚生委員会所管事務調査報告

委員長 鮫島 市憲

平成27年7月28日から7月30日にかけて、鹿児島市と伊佐市、曾於市において、所管事務調査を行った。

鹿児島市・都市農村交流センターの取り組み



都市と農村の交流施設の整備・充実を図る新たな拠点施設である鹿児島市の「都市農村交流センター」を視察した。

平成26年度実績は、農家民泊などの農業体験者数が、目標2万人に対し2万1,000人。グリーン・ツーリズム登録団体が、目標38団体に対し42団体。ホームページへのアクセス数は、目標2万8,000件に対し約4万3,000件

であり、設定目標を達成しているとのことであった。

グリーン・ツーリズム施設については、生産農家の減少や高齢化、類似の商業施設の進出などにより、利用者、売上とも減少傾向にあることから、ソフト、ハードの両面からの一層の充実を図る必要があるとのこと。

これらの諸課題や現在の計画の検証結果を踏まえながら、今後5カ年の指針となる第2期の計画作りを進めたいとの説明を受けた。



伊佐市・林業振興

伊佐市は、総面積の71%が林野で占められ

ており、民有林は全林野面積の54%で、人工林の殆んど市木である松と杉が中心である。

林業の課題として、①先人たちの努力で植えられ育てられた人工林が利用段階になってきているが、高齢化、不在村化、木材の価格低迷により経営意欲が減退の傾向にある。②公有林の周辺を取り巻く私有林は小規模分散型で集約化に労力が必要である。③高性能林業機械による森林施業への抵抗感があることから木材生産の需要の高まりに対応しきれていない。



伊佐市では「日本一子育てにやさしいまちづくり」を目指し、平成24年に、妊娠中から18歳までの相談の場として、「伊佐市トータルサポートセンター」を開設している。



伊佐市・子育て支援システム

子ども発達支援センター「たんぼ」では、療育についての理解を深めるため「年中児・年長児の就学を考える会」を開催するなど、発達支援システムに沿った諸課題解決の早期の対応に取り組んでいた。

鹿児島県・肉用牛改良研究所の取り組み

「鹿児島黒牛」の改良・増殖の育種改良研究や、先端技術を駆使した開発に取り組みされている研究所の存在と900kgを超える実物の有種雄牛の勇姿を直接拝観し、畜産県としてその強力な取り組み姿勢に感銘を受けた。



畜産経営は最短でも5カ年を要することから、今後の安定的畜産経営農家を堅持する上で、後継者育成対策や農業生産の基盤でもある畜産振興の再構築の必要性を強く感じた。



鹿児島市・すこやか子育て交流館の取り組み

鹿児島市の「すこやか子育て交流館」は、子育て中の親の不安感や、負担感を軽減するとともに、子育て家庭や団体等の活動をさまざまな角度からサポートする総合的な子育て支援の拠点施設である。

この施設では、「ひろがる笑顔、支えあう子育て」をコンセプトに、親子が気軽に集い、相互に交流する場を提供するとともに、育児相談や子どもの一時的預かり、子育てに関連する情報の発信や関係団体との連携・情報の共有化を行い、地域の子育て支援機能の充実を目指しているということであった。



7月臨時議会で決まったことは次の通りです

○…賛成
●…反対

議 案 名	関連 ページ	議員名（議席番号順）																議決結果
		木 原 幸 四	鮫 島 市 憲	濱 上 幸 十	小 倉 初 男	下 川 和 博	瀧 下 満 義	小 倉 伸 一	田 添 辰 郎	中 原 勇	川 村 孝 則	板 元 一 巳	長 野 広 美	橋 口 美 幸	渡 辺 道 大	丸 田 健 次	永 田 章	
議案第 61 号 平成 27 年度西之表市一般会計補正予算（第 2 号）	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 62 号 有害鳥獣被害防止対策の強化を求める意見書の提出について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 15 否 0

9月議会で決まったことは次の通りです

○…賛成
●…反対

議案第 63 号 西之表市教育長の任命について	2	無記名投票（有効 15）															同意 賛 13 否 2	
議案第 64 号 西之表市教育委員会委員の選任について	2	無記名投票（有効 15）															同意 賛 15 否 0	
議案第 65 号 西之表市監査委員の選任について	2	無記名投票（有効 15）															同意 賛 14 否 1	
議案第 66 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	2	無記名投票（有効 14 無効 1）															同意 賛 13 否 1	
議 案 名	関連 ページ	議員名（議席番号順）															議決結果	
		木 原 幸 四	鮫 島 市 憲	濱 上 幸 十	小 倉 初 男	下 川 和 博	瀧 下 満 義	小 倉 伸 一	田 添 辰 郎	中 原 勇	川 村 孝 則	板 元 一 巳	長 野 広 美	橋 口 美 幸	渡 辺 道 大	丸 田 健 次		永 田 章
議案第 67 号 西之表市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	—	原案可決 賛 13 否 2
議案第 68 号 西之表市汚泥再生処理センターの設置及び管理に関する条例の制定について	4	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 69 号 西之表市地域活性化住宅の設置及び管理に関する条例の制定について	3	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 70 号 西之表市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について	4	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●	●	○	—	原案可決 賛 11 否 4
議案第 71 号 平成 27 年度西之表市一般会計補正予算（第 3 号）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	撤回
議案第 72 号 平成 27 年度西之表市簡易水道特別会計補正予算（第 2 号）	4	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 73 号 平成 27 年度西之表市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	4	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 74 号 平成 27 年度西之表市交通災害共済事業特別会計補正予算（第 1 号）	3	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 75 号 平成 27 年度西之表市地方卸売市場特別会計補正予算（第 1 号）	4	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 76 号 平成 27 年度西之表市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	4	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 77 号 平成 27 年度西之表市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第 2 号）	4	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 78 号 平成 27 年度西之表市水道事業会計補正予算（第 2 号）	4	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決 賛 14 否 1
議案第 79 号 安全保障法制の慎重な審議を求める意見書の提出について	4	○	○	●	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	—	原案可決 賛 10 否 5

議 案 名	関連 ページ	議員名（議席番号順）																議決結果		
		木 原 幸 四	鮫 島 市 憲	濱 上 幸 十	小 倉 初 男	下 川 和 博	瀬 下 満 義	小 倉 伸 一	田 添 辰 郎	中 原 勇	川 村 孝 則	榎 元 一 巳	長 野 広 美	橋 口 美 幸	渡 辺 道 大	丸 田 健 次	永 田 章			
議案第 80 号 「平和安全法制関連法案」の廃案を求める意見書の提出について	4	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	—	原案否決 賛 4 否 11		
議案第 81 号 平成 27 年度西之表市一般会計補正予算（第 3 号）	3～4	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	—	原案可決 賛 12 否 3	
議案第 82 号 「空母艦載機離着陸訓練（FCLP）の馬毛島調査に反対する意見書」の提出について	2	○	○	●	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	—	原案可決 賛 10 否 5	
議案第 83 号 「年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書」の提出について	2	○	●	●	○	●	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	○	—	原案可決 賛 8 否 7	
請願第 32 号 「川内原発再稼働に反対する意見書」の鹿児島県知事への提出を求める請願書	3	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	—	不採択 賛 6 否 9	
請願第 40 号 年金積立金の専ら被保険者の利益の安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める請願書	4	○	●	●	○	●	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	○	—	採択 賛 8 否 7	
請願第 42 号 種子島、屋久島を「活動火山周辺地域防災営農対策事業」の対象地域に組み入れることを求める請願書	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	—	継続審査 賛 13 否 2
請願第 43 号 一般廃棄物（古紙）の圧縮梱包処理費の負担を求める請願書	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	継続審査 賛 15 否 0

※議案第 80 号、請願第 32 号、40 号については、原案に対する賛否、請願第 42、43 号については委員長報告（継続審査）に対する賛否を記載しています。

※永田章議員は、議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。○は賛成、●は反対。

議長会務報告

（平成 27 年 7 月～平成 27 年 9 月）

7 月

- 第 56 回県民体育大会熊毛地区大会開会式
- 第 17 回東海西之表会総会
- 第 43 回熊毛地区母子寡婦福祉研修大会
- 熊毛地区消防組合議会臨時会
- 平成 27 年度屋久島空港整備促進協議会
- 平成 27 年度種子島屋久島振興協議会総会
- 米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会
- 種子島産婦人科医院組合議会臨時会
- 種子島地区広域事務組合議会臨時会
- 平成 27 年度種子島屋久島観光連絡協議会
- 第 56 回県民体育大会熊毛地区大会閉会式
- 小規模市の地域戦略を考える地方議会ネットワーク議長会

8 月

- 第 23 回われは海の子黒潮の子「浦田遠泳大会」
- 西之表市酪農振興会総会
- 平成 27 年度熊毛地区さとうきび価格対策協議会定期総会
- 平成 27 年熊毛地域農政関連各種協議会総会
- 鹿児島県市議会議長会定期総会
- 第 28 回長浜市・西之表市少年スポーツ交流歓迎レセプション
- 第 5 回種子島屋久島議会議員大会臨時会
- 鹿児島県市町村政研修会
- 第 37 回ロケット祭神事
- 種子島産婦人科医院建設起工式
- 第 46 回鉄砲まつり歓迎レセプション
- 第 46 回種子島鉄砲まつり

9 月



▲ 101 歳以上敬老訪問の様子

- 第 103 回西之表市畜産共進会及び畜魂祭
- 2015 志布志みなとまつり
- 種子島高等学校創立 10 周年記念体育祭
- 平成 27 年度熊毛地区ホルスタイン共進会
- 種子島中学校第 7 回体育大会
- 101 歳以上敬老訪問
- 88 歳を祝う会
- 第 69 回県民体育大会
- 市内小学校運動会

西之表市議会のホームページでは、次のような情報を掲載しています。ご覧ください。

- 議会の仕組み
- 議員名簿
- 議会行事記録
(どんな会議に出席したか)
- 議会の日程
(いつ議会があるのか、あったのか)
- 一般質問通告書
(誰がどんな質問をするのか、したのか)
- 本会議議事録
- 議会だよりバックナンバー など

URLは・・・

<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/gikai/gikaitop.html>

または「西之表市議会」で検索してください。

次回 平成27年第4回定例会 会期日程予定

11月

- 27日 開会、本会議
- 30日 本会議
請願・陳情最終受理期限
(正午まで)

12月

- 2・3・4日 本会議(一般質問)
- 7・8日 産業厚生委員会
- 9・10日 総務文教委員会
- 11日 各常任委員会
- 15日 各特別委員会、
議会運営委員会
- 17日 最終本会議(議案等審議、表決、閉会)

「にぎわい創出」「中心拠点施設」に関する調査

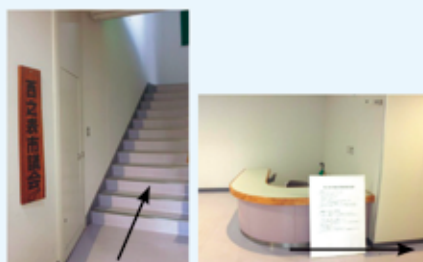
西之表市議会では、平成27年8月、「にぎわい創出」「中心拠点施設」に関して、慎重審議を行うため、市商工会青年部との意見交換会(総務文教委員会)及び、各商店街へのアンケート調査(産業厚生委員会)を実施しました。その結果を、「西之表市議会ホームページ」へ掲載しています。そちらも是非ご確認ください。ご協力いただいた皆様誠にありがとうございました。

議会を傍聴してみませんか？

市議会の定例会は3月・6月・9月・12月の年4回開催され、次回は11月27日開会の予定です。

傍聴者受付簿に住所、氏名、年齢を記入するだけで傍聴できますので、どうぞお越しください。

※総合窓口に向かって右側のエレベーター(若しくは総合窓口左の「西之表市議会」看板のある階段)で3階傍聴席へお越しください。



編集後記

今年には台風の影響でヨットレース、車いすマラソンが中止となり、入込客も心配される中、鉄砲まつりでの市民の皆様の意気込みを感じ、早朝から会場は人でいっぱい、あのようなにぎわいを久しぶりに見ました。議員数名も前夜から、当日まで毎回参加して祭りを盛り上げています。

校区の運動会は雨のため中止となりましたが、市民体育祭は盛大なものとなりました。幼稚園、保育園や、小・中・高校の運動会も秋晴れの下旬開催されました。関係者の皆様誠にお疲れ様でした。

また、敬老の日には各種行事等が盛んに執り行われたことと思います。今後も高齢者の皆様のご活躍をお祈りしますとともに、先人の知恵で引き継ぎご指導ください。

これからの季節は五穀豊稔の収穫祭が市内のあちこちで実施されます。

また、鹿児島県内各地で国民文化祭も開催されますので機会をみて足を運んでみてはいかがでしょうか。

(幸四)



発行／西之表市議会 編集／議会報編集委員会 発行責任者：西之表市議会 議長 永田 章
〒891-3193 鹿児島県西之表市西之表7612番地
TEL 0997-22-1111(内線351) FAX 0997-22-0295 E-mail: gikai@city.nishinoomote.lg.jp